

授業科目名	病理学の基礎	担当教員	教授 橋本 龍樹ほか		
開講年次及び学期	2年前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
授業の目的（概要）					
<p>病理学は、疾病及び病的状態の本質について全身または臓器の構造的・機能的異常として究明する学問である。病理学の基礎においては、疾病の本質を細胞・組織レベルで勉強し、生体の恒常性が乱れている病因とその結果によって生ずる病変について学習する。これまでに蓄積されてきた病気についての知識に根付いた治療方法、看護方法、介護を全人的にとらえながら実践する基礎的能力を習得する。</p>					
学修成果（到達目標）					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 疾病の本質を知る。 2. 疾病の原因について、全身の各臓器に通ずる一般的な原理、概念について理解する。 3. 全身の各臓器、組織に生じた病変について理解する。 4. 看護のアセスメントと援助に必要な病理学的な基礎的知識を習得する。 					
キーワード					
細胞・組織の障害、再生と修復、循環障害、炎症、代謝異常、腫瘍、先天異常、遺伝疾患					
授業の進め方					
対面講義、オンデマンド配信講義					
成績評価の方法（合否基準）					
moodle上でのレポート、試験で評価する。期末試験60点以上を合格とする					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材					
<p>【教科書】 カラーで学べる病理学（第3版）ヌーヴェルヒロカワ 【参考書】 カラー ルービン病理学 西川書店</p>					
オフィスアワー					
随時 E-mail: ryuju@med.shimane-u.ac.jp					
モデル・コア・カリキュラムとの関連					
<p>C-4 疾病と回復過程の理解 C-4-1) 病態の成り立ちと回復過程 C-4-1)-(1) 細胞障害・変性と細胞死 C-4-1)-(2) 修復と再生 C-4-2) 基本的な病因と病態 C-4-4-2)-(1) 遺伝的多様性と疾病 C-4-2)-(2) 栄養・代謝障害 C-4-2)-(3) 循環障害 C-4-2)-(4) 炎症 C-4-2)-(5) 腫瘍</p>					

授業計画

回	日程	時間	場所	実施方式	テーマ・授業内容	担当者
1	4月10日	16:50～ 18:30	N12		細胞・組織とその障害	橋本
2	5月15日	〃	〃	オンデマンド	循環障害1	橋本
3	5月22日	〃	〃	〃	循環障害2	橋本
4	5月29日	〃	〃	〃	炎症	橋本
5	6月5日	〃	〃	〃	先天異常	橋本
6	6月12日	〃	〃	〃	腫瘍Ⅰ	磯村先生
7	6月19日	〃	〃	〃	腫瘍Ⅱ	磯村先生
8	6月26日	〃	〃	〃	老化と老年病, 新生児の病理	橋本
9	7月3日	10:25～ 12:05	〃	〃	病理診断・検査	丸山先生
10	7月10日	16:50～ 18:30	〃	〃	生命の危機	橋本
11	7月17日	〃	〃	〃	循環器系の病理Ⅰ	橋本
12	7月22日 (水)	〃	〃	〃	循環器系の病理Ⅱ	橋本
13	7月31日	〃	〃	〃	呼吸器系の病理	橋本
14	8月7日	〃	〃	〃	消化器系の病理	橋本

備考